

森 森 り り よ よ う う じ

森
が
動
く
。



流山市議会議員

ICTをご存知ですか？IT技術を使い様々なコミュニケーションを通じて、医療や福祉、まちづくり、環境等の質的サービスの向上を目指す方法であり、流山市も積極的に進めています。一方、先日参加した世界ICTサミットで感じたことは、日本は“便利さの追求”的側面が強いのにに対し、各国はICTを活用し“社会の平等を目指す”ことを目標にしています。最も大切な視点だと思えます。

※森りようじレポート。は、東武野田線・つくばエクスプレス・JR・流鉄線の各駅で配布しております。(市内13箇所)

平成25年7・8月号
森りようじレポート。(65号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■平成25年第2回定例会ダイジェスト

期間は6/13～7/3。今定例会より新体制の組織（正副議長・常任委員会・特別委員会）で審議を行いました。会社で言えば社長や所属部署が変わった中でのスタートと言ったところでしょうか。補正予算や小中併設校に関する財産（用地・建物）取得などの12議案、陳情8件は様々な角度から積極的な議論が展開されました。

■新しい視点をもって。

議会内部では2年に一度、人事異動があります。前期は都市建設委員会と議会運営委員会（副委員長留任）でしたが、今回は教育福祉委員会（委員長新任）の所属となりました。両委員会ともに役職を拝命頂いたので、まずは委員会における公平かつ円滑な議事進行を行うことを最大の使命として参ります。

一方で委員長職が持ち得る権能もありますので、それらを十分に活用し、流山市が抱える教育福祉の課題解決に向け全力で取り組んで参ります。今議会では委員賛同のもと「子宮頸がんワクチン接種問題」について市の現状説明を求める協議会を開催しました。

■8・9月の駅頭と会報発行はお休みです

8月はお盆休み、9月は定例会開会中のため、駅頭活動と会報発行はお休みさせていただきます。

○1976年6月12日流山生まれ（37歳）

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦（次点）

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員（2年間）

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選（二期目）

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味：政治（人と語る・駅頭）・読書・コミュニケーション

体型：身長159.5cm・体重54.7kg

後援会事務所：流山市中野久木559-2

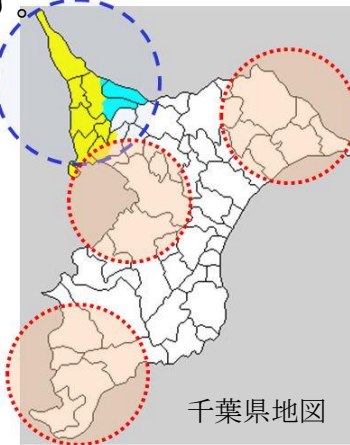
討議資料

一般質問① 【2050年の流山は？】

強い東葛地域(千葉県北西部)を目指す！

つくばエクスプレスや常磐自動車道などの交通インフラが充実していることもあり、流山市が位置する千葉県北西部地域(俗に東葛地域と言います。※下図の左上円内一帯)の将来性(成長力)は多くの民間企業が注目しています。その背景としては、全国各地で人口減少や少子高齢化問題と言った課題が顕著になってきていることがあります。

一方で、約40年後は東京や政令指定都市等の大都市に人口が密集する時代と言われています。2050年、日本の人口は9000万人を切る事が予測され、**都市と地方の格差が更に生じる懸念**があります。



そのような時代の到来を見据え、流山市単独で実施することと、近隣市と連携を図り効率性を高めながら広域的な視点による政策を打ち出すことで**他の大都市に負けない地域づくり**も求められてくるようになると思います。結果として東葛地域における持続的発展の恩恵(人・モノ・金など)を流山市も享受しながら成長を遂げていく戦略であります。

まず第一歩として、実態経済の調査を！

今回は具体的な提案として、東葛地域の持続的な発展・成長を目指し、経済・産業政策の基盤となる景気実態調査を開始し、広域的な政策作りに役立ててはどうかとの提案でした。

答弁では金融機関のシンクタンクが持っているデータの活用について依頼していきたいと実施に前向きな答弁でした。この地域が“将来に渡り活力のある地域であり続ける”ためにも必要な調査であり、調査結果をしっかりと活かしていきたいものです。

※詳細は議会インターネット録画でもご覧頂けます。

**WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！**

一般質問② 【ネット選挙解禁を迎えるにあたって】

参議院選挙からインターネット選挙が解禁となりました。選挙期間中、候補者の最新動向の把握、直接の意見交換を通じ政策や人物の再確認、また有権者自身が友人や知人に“候補者支援の輪”を広めることもできます。結果として国民の政治参加促進が期待されていますが、公平な選挙を実施する機関である選挙管理委員会(以下、選管)の体制状況を確認しました。

例えば、他市で起きた選挙の失態(票の紛失、電子投票に伴うトラブル等)は自治体のイメージを壊すだけではなく、選挙への信頼を失墜させてしまい兼ねません。またネットの世界は日進月歩で技術などが進化しており、常に最新の技術習得を図ることも選管に求められてきます。選管事務局長の答弁では、研修などの強化を図るほか、国や県の選管と連携を図り適正な選挙執行を目指したいとのことでした。(※法改正の詳細な中身は選管HPでご確認下さい)

一般質問③ 【権限委譲に向け、千葉県が動く！】

3度目の質問となった「旅券発給(パスポート)事務の千葉県からの権限委譲」が動き始めました！自治基本条例の第18条『市と県は対等関係』を地で行く取り組み(分権でなく主権)は、力強い一歩を踏み出したと感じています。

講演をしました！ 【6月9日@日本政治学会】

法政大学で開催された日本政治学会で講演をしてきました。

現役学生から市民活動をされている方、大学教授など幅広い皆様にお聞き頂き、色々質問を頂きました。



**【連絡先】TEL & FAX:7155-3236
Mail:ryoji612@peach.ocn.ne.jp**